



子どもの発達

日々の生活が「ことば」を育みます

お子さんの「ことば」が、どのように育まれていくのかを知り、成長を伸ばすための関わりについてお伝えします。



日々のお子さんの相談や健診をする中で、お子さんの「ことば」が少し遅いかなと心配されるお母さんやお父さんのお話を聞くことがあります。「ことば」の発達は、個人差があることから、周囲のお子さんと比べて心配になってしまうことも多いようです。

お子さんの「ことば」は、日々の何気ない親子のふれあいの中で自然と育まれていくと言われています。

お子さんは、おしゃべりできるようになるずっと前から、人と関わる力（コミュニケーション能力）を、日々学んでいます。赤ちゃんの頃は、視線や声、微笑みや身振りなど、「ことば」以外の表現方法を精一杯使って、コミュニケーションをとろうとしています。1歳を過ぎる頃には、「ことば」に意味があることに気づ

き、話す練習を盛んに行うようになり、段々と表現できる「ことば」が増えていきます。



◆お子さんにたくさん語りかけましょう

「ことば」を増やすためにも、日々のお子さんへのお世話の中で、たくさん声かけをしましょう。着替えのときに「気持ちいいね」「ごはんのときに「〇〇おいしいね」等と毎日の生活の中で意識的にたくさん声をかけていきましょう。特別に「ことば」を教えるように考える必要はありません。こうした日々の関わりを毎日繰り返すことでお子さんの「ことば」は少しずつ育っていきます。



◆お子さんと大人が気持ちを共感することが大切です

お子さんが興味を持っていることにお母さんやお父さんが共感し、一緒に「見る」「触れる」「味わう」など同じ体験をすることが大切です。お子さんが興味を持ったものを見つけたら、それに気づき一緒に指さしをしたり、顔を見て優しく「ことば」をかけてあげるなど、楽しく親子の時間を過ごすように心がけましょう。

◆たくさん遊びましょう

日々の生活での関わりやからだを使って遊ぶことが「ことば」の基礎になり、発達につながります。

お子さんは、見たり体験したこととお母さんやお父さんが発した言葉を聞くことを毎日繰り返して「ことば」を理解し、話すようになっていきます。家事等で忙しいとは思いますが、親子で散歩等いろいろな体験ができる機会を作るようにしましょう。

◆子どもの成長は

個人差が大きいです。子どもの発達は個人差があり、特に「ことば」は個人差が大きとも言われています。焦らず、その子のペースに合わせて関わっていくことが大切です。

※お子さんの成長や育児についてのご相談やお困りのことがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

小諸市保健推進委員会 活動発表及び 講演会を開催します

小諸市保健推進委員会では、総会の開催に併せて、活動発表と健康づくりに役立つ講演会を行います。どなたでもご参加いただけます。

◆日時 5月21日(土)

◆受付 午後1時～1時30分

◆内容

①保健推進員の活動発表

午後1時30分～2時

②講演会

午後2時～3時

「ちよつと、ずくぐ出し、健康長寿のまち 小諸を

目指そう!」

・講師 NPO法人佐久平総合

合リハビリセンター

代表 中村崇氏

◆場所

小諸市文化センター

◆参加費 無料

※申込みは不要です。

◆問い合わせ先

健康づくり課 健康支援係